



平成28年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年4月28日

上場会社名 東京都競馬株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9672 URL <http://www.tokyotokeiba.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山口 一久  
 問合せ先責任者 (役職名)財務部長 (氏名)江口 真司 (TEL)03(5767)9731  
 四半期報告書提出予定日 平成28年5月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第1四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第1四半期	4,028	9.0	691	8.4	678	9.2	450	26.6
27年12月期第1四半期	3,694	9.3	637	144.7	621	157.0	355	—

(注) 包括利益 28年12月期第1四半期 317百万円(△21.5%) 27年12月期第1四半期 404百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第1四半期	1.58	—
27年12月期第1四半期	1.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第1四半期	79,654	54,848	68.9
27年12月期	82,287	55,104	67.0

(参考) 自己資本 28年12月期第1四半期 54,848百万円 27年12月期 55,104百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	1.50	—	2.00	3.50
28年12月期	—	—	—	—	—
28年12月期(予想)	—	1.50	—	2.00	3.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,275	4.4	1,183	△29.8	1,173	△29.7	743	△34.4	2.60
通期	19,204	4.1	4,257	△9.9	4,228	△9.9	2,648	2.7	9.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 —社(社名)—、除外 —社(社名)—  
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年12月期1Q	287,648,547株	27年12月期	287,648,547株
28年12月期1Q	1,916,358株	27年12月期	1,909,830株
28年12月期1Q	285,734,916株	27年12月期1Q	285,782,976株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページから3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(4) 追加情報 .....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
4. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①業績の概況

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、南関東4競馬場在宅投票システム（SPAT4）を中心とした公営競技事業の売上が引き続き好調に推移したことなどにより、売上高は4,028百万円（前年同期比9.0%増）、営業利益は691百万円（同8.4%増）、経常利益は678百万円（同9.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は450百万円（同26.6%増）となりました。

なお、当社グループの遊園地事業は、屋外プール営業期間中（夏季）に年間入場者の大半を集客することから、通年の業績のうち第3四半期連結会計期間における売上高及び売上原価の占める割合が著しく高い傾向にあります。

セグメントごとの業績は、次のとおりです。

区 分	売上高		セグメント利益又は セグメント損失(△)	
	金額（百万円）	前年増減比	金額（百万円）	前年増減比
公営競技事業	2,249	8.5%	533	8.7%
遊園地事業	151	9.2%	△377	—
倉庫賃貸事業	1,085	△4.2%	679	1.3%
サービス事業	631	75.3%	101	20.1%
セグメント間取引の消去等	△88	—	△244	—
合 計	4,028	9.0%	691	8.4%

[公営競技事業]

大井競馬は前年同期と同じく20日開催されました。

このほか、浦和競馬、船橋競馬、川崎競馬の大井場外発売は計45日、その他各地方競馬の広域大井場外発売が152レース実施されました。

この間、南関東4競馬場在宅投票システム（SPAT4）において、1月11日より新たにゆうちょ銀行をネットバンク投票サービス対応銀行に追加したほか、投票金額に応じて一定のポイントを付与する「SPAT4プレミアムポイント」においても、各種キャンペーンを実施し、主催者及び関係団体と協力してさらなる勝馬投票券の売上増加並びにファンサービスの向上に取り組みました。

なお、大井競馬場リニューアル計画に基づく、3号スタンドの解体撤去工事は、本年10月までに跡地の整備をもって完了する予定となっております。

伊勢崎オートレースは19日開催され、前年同期と比べ開催日数は5日増加いたしました。

このほか、川口オートレース他4場の伊勢崎場外発売は延べ76日実施されました。

この間、3月末の船橋オートレース場廃止に伴い、伊勢崎オートレース場への船橋所属選手の一部受け入れに対応するため、選手ロッカー等の改修を実施いたしました。

また、伊勢崎オートレース場内において当社が運営業務を受託し、平日を中心に南関東4競馬などの地方競馬を発売する「オフト伊勢崎」、主に土日に中央競馬を発売する「J-PLACE伊勢崎」につきましては、来場者及び売上ともに順調に推移いたしました。

以上の結果、公営競技事業の売上高は2,249百万円（前年同期比8.5%増）、セグメント利益は533百万円（同8.7%増）となりました。

[遊園地事業]

遊園地事業におきましては、東京サマーランドにおいて、園内整備のため1月1日から2月29日まで休園といたしました。昨年10月にプレオープンした都内最大級の約4,000㎡のドッグランや、地産食材を利用したカフェレストランなどを有するアウトドア複合施設「Wonderful Nature Village (わんだふるネイチャーヴィレッジ)」の開園効果により売上が増加いたしました。

なお、同施設は4月1日、新たにドッグプールやオートキャンプサイトなどを加えてグランドオープンいたしました。

以上の結果、東京サマーランドの入場人員は7万人で、遊園地事業の売上高は151百万円（前年同期比9.2%増）となりましたが、「Wonderful Nature Village」オープンに係る整備費用等の計上を行い、セグメント損失は377百万円（前年同期はセグメント損失352百万円）となりました。

[倉庫賃貸事業]

倉庫賃貸事業におきましては、勝島地区・平和島地区の大型倉庫にて、事業者間競争の影響などにより昨年、一部賃料の減額があり、売上高は1,085百万円（前年同期比4.2%減）、セグメント利益は補修工事費用の見直しなどにより679百万円（同1.3%増）となりました。

[サービス事業]

サービス事業におきましては、昨年7月に連結子会社といたしました空調設備の設計・施工管理を主に行っている株式会社タックの売上を計上したことに伴い、売上が増加いたしました。

以上の結果、売上高は631百万円（前年同期比75.3%増）、セグメント利益は101百万円（同20.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ2,633百万円減少し、79,654百万円となりました。これは、現金及び預金が1,217百万円、受取手形及び営業未収入金が956百万円、固定資産の減価償却等により有形固定資産が200百万円それぞれ減少したことが主な要因であります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ2,377百万円減少し、24,805百万円となりました。これは、未払金が1,781百万円、未払法人税等が483百万円それぞれ減少したことが主な要因であります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ255百万円減少し、54,848百万円となりました。これは、上場株式等の時価変動によりその他有価証券評価差額金が132百万円減少したのに加えて、期末配当の実施等により利益剰余金が121百万円減少したことが主な要因であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の67.0%から68.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、当第1四半期の業績がおおむね計画通り推移しており、平成28年2月12日発表の数値から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)第39項に掲げられた定め等を適用し、四半期純利益等の表示の変更および少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,353,510	7,135,900
受取手形及び営業未収入金	2,098,869	1,142,314
有価証券	3,709,953	3,509,449
たな卸資産	152,032	127,474
繰延税金資産	109,499	200,895
その他	318,034	592,755
流動資産合計	14,741,899	12,708,789
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	22,236,703	21,953,482
建物附属設備（純額）	5,092,788	5,029,727
構築物（純額）	6,249,455	6,104,542
機械装置及び運搬具（純額）	1,634,181	1,595,737
土地	22,211,332	22,188,930
信託建物（純額）	1,728,881	1,719,868
信託建物附属設備（純額）	203,575	199,522
信託土地	2,174,126	2,174,126
その他（純額）	630,334	994,540
有形固定資産合計	62,161,379	61,960,479
無形固定資産		
ソフトウェア	748,403	798,585
のれん	180,192	170,708
施設利用権	15,453	13,971
その他	11,594	11,594
無形固定資産合計	955,642	994,859
投資その他の資産		
投資有価証券	3,006,659	2,803,462
長期前払費用	365,783	340,981
繰延税金資産	363,918	384,574
長期立替金	528,860	293,811
その他	163,716	167,432
投資その他の資産合計	4,428,937	3,990,261
固定資産合計	67,545,959	66,945,600
資産合計	82,287,859	79,654,390

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	607,765	617,439
1年内返済予定の長期借入金	115,844	103,340
未払金	2,712,108	931,048
未払法人税等	826,041	342,297
未払消費税等	96,926	205,643
賞与引当金	49,158	131,094
ポイント引当金	99,168	124,492
その他	805,065	748,219
流動負債合計	5,312,077	3,203,575
固定負債		
社債	17,000,000	17,000,000
長期借入金	94,078	69,900
長期預り金	2,196,517	2,039,575
退職給付に係る負債	1,229,430	1,212,476
資産除去債務	388,270	389,647
繰延税金負債	4,829	567
その他	958,194	889,944
固定負債合計	21,871,320	21,602,110
負債合計	27,183,397	24,805,686
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,586,297	10,586,297
資本剰余金	6,857,668	6,857,668
利益剰余金	37,562,026	37,440,647
自己株式	△399,275	△400,860
株主資本合計	54,606,717	54,483,753
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	497,745	364,950
その他の包括利益累計額合計	497,745	364,950
純資産合計	55,104,462	54,848,704
負債純資産合計	82,287,859	79,654,390



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
売上高	3,694,582	4,028,855
売上原価	2,686,138	2,956,813
売上総利益	1,008,444	1,072,042
一般管理費	370,445	380,335
営業利益	637,998	691,706
営業外収益		
受取利息	1,502	9,415
線下補償料	2,034	2,034
その他	4,731	6,275
営業外収益合計	8,268	17,725
営業外費用		
支払利息	24,364	25,046
その他	3	5,440
営業外費用合計	24,368	30,486
経常利益	621,899	678,945
特別利益		
補助金収入	9,803	41,343
特別利益合計	9,803	41,343
税金等調整前四半期純利益	631,702	720,288
法人税、住民税及び事業税	298,250	308,683
法人税等調整額	△22,153	△38,493
法人税等合計	276,096	270,189
四半期純利益	355,606	450,098
親会社株主に帰属する四半期純利益	355,606	450,098

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
四半期純利益	355,606	450,098
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	48,399	△132,794
その他の包括利益合計	48,399	△132,794
四半期包括利益	404,005	317,304
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	404,005	317,304
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	公営競技事業	遊園地事業	倉庫賃貸事業	サービス事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,072,387	138,759	1,133,491	349,944	3,694,582	—	3,694,582
セグメント間の内部 売上高又は振替高	371	—	—	10,165	10,537	△10,537	—
計	2,072,758	138,759	1,133,491	360,109	3,705,119	△10,537	3,694,582
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	490,673	△352,720	670,790	84,295	893,039	△255,040	637,998

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△255,040千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用になります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	公営競技事業	遊園地事業	倉庫賃貸事業	サービス事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,248,962	151,499	1,085,808	542,584	4,028,855	—	4,028,855
セグメント間の内部 売上高又は振替高	426	—	—	88,517	88,943	△88,943	—
計	2,249,388	151,499	1,085,808	631,101	4,117,798	△88,943	4,028,855
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	533,230	△377,138	679,215	101,264	936,572	△244,865	691,706

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△244,865千円には、セグメント間取引消去△2,474千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△242,390千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。